

デーリー東北
2018年(平成30年)11月13日(火曜日) (15)

七戸

養殖場のスッポン
水揚げお手伝い

八工大生

東北町の「東北すっぽんファーム」(甲地慎一社長)はこのほど、七戸町李沢にある養殖場でスッポンの水揚げ作業を実施した。作業には八戸工業大の野球部員15人が加わり、飼育用水槽のスッポン約1500匹を出荷用水槽に移し替えた。

同社のスッポンは植物性の泉質である温泉の掛け流しで育てる。冬眠しないため飼育期間が短いことと、臭みがほとんどないのが特長。料理ガイド本のミシュランに掲載される東京都内のレストランなどと取引されている。

同社は、1年間育てたスッポンを毎年秋に水揚げ。同大野球部の笹田公烈監督が甲地社長の恩師という縁があり、毎年野球部員が手伝っている。部員たちは飼育用水槽からバケツを使ってスッポンをすくい、1匹ずつ計量してから、



飼育用水槽からスッポンを運び出す
八戸工業大の野球部員

重さごとに別の水槽に移した。このうち1キ以上のものが出荷されるという。

初めて手伝った1年の井上航さん(19)は「初めは怖かったが、だんだん慣れてくるとうまくできた。少しでも力になったのなら良かった」と話していた。

(林泰輔)